

	筑波大学 医学系分野
学部・研究科名	<p>医学群（第1年次：98 第2年次：5）</p> <p>※医学類を記載。</p> <p>人間総合科学研究科（M：64 D：102）</p> <p>※M：フロンティア医科学専攻、感性認知脳科学専攻を記載。</p> <p>D：生命システム医学専攻、疾患制御医学専攻、感性認知脳科学専攻、スポーツ医学専攻、ヒューマン・ケア科学専攻を記載。</p>
沿革・設置目的	<p>医学に関する教育・研究を行うことを目的に、筑波大学の設置とともに、昭和48年（1973年）に筑波大学医学専門学群が設置された。</p> <p><u>昭和48年（1973年） 筑波大学設置と同時に医学専門学群設置（平成19年（2007年）医学群に改組）</u></p> <p>昭和54年（1979年） 大学院医科学研究科設置（平成18年（2006年）人間総合科学研究科に改組）</p> <p>昭和55年（1980年） 大学院医学研究科設置（平成13年（2001年）人間総合科学研究科に改組）</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 筑波大学の理念等に基づき、従来の観念に捉われない新しい大学の仕組みを構築し、医学教育革新の先導的役割を果たすとともに、国際的視野を持つ一流の医師・医学研究者の養成を積極的に推進する。特に、臨床実習の質的量的充実や海外での実習の積極的な展開等により、我が国の医学教育の水準の向上、グローバル化に貢献するとともに、国際的・学際的大学院教育プログラムの実施により、国際機関や産官の多様な職場で活躍する医学知識を持った専門職業人を育成する。</p> <p>○ 地方公共団体や地域の医療機関との連携のもと、地域医療の再生支援と総合的な診療能力を有する医師養成を合わせた医療システムの構築等により、茨城県内を始めとする地域医療の維持・向上に貢献する。</p> <p>○ 陽子線治療や睡眠医科学、生活支援ロボット技術等の学際融合研究の創成や、アレルギー疾患・自己免疫疾患、メタボリックシンドロームの研究等を始めとする、基礎医学、臨床医学の各領域における研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。</p> <p>○ 県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や地域がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センター等としての取組を通じて、茨城県における地域医療の中核的役割を担う。</p>